

楠見東小「家庭学習のすすめ」

子供たちの生きる力を育むためには、学校での授業とともに、家庭においても学習への意欲・関心を高め、学習習慣を定着させることがとても大切です。
また、子供たちの学習に対する姿勢は、保護者様の関りで変わってきます。楠見東小学校では『家庭学習のすすめ』を作成しています。ぜひご活用いただけますようお願いいたします。

＜家庭でお願いしたいこと＞

パターンを決めて

決まった時刻、決まった場所で学習する習慣を身につけさせてください。

テレビはダメ

静かな雰囲気の中で、落ち着いて学習させてください。

集中して

途中で他のことをせず、やり始めたら、終わるまで机に向かわせてください。

アドバイス

ほめてあげてください。
低学年のうちは、子どもがやったらもう一度見てあげてください。



めやすの時間

1・2年	…20分以上
3年	…30分以上
4年	…40分以上
5年	…50分以上
6年	…60分以上

家庭学習の効果

- ・漢字や計算など学校で習ったことを家庭で繰り返し学習することで学習内容の理解や定着が進みます。
- ・学習が分かることで、授業中に積極的になれます。
- ・自信が芽生え、様々な事に進んで関わられるようになります。

低学年 POINT

自分で学習内容や方法を決めることはまだ難しく、家庭のサポートが欠かせません。がんばりをほめたり、認めてあげたりすることで子供のやる気を伸ばしましょう。

中学年 POINT

自分でやろうとすることが多くなりますが、家庭での学習習慣をしっかり身につける上での手助けはまだ必要です。また、学習に少しずつ個人差が出てくるころですが、兄弟姉妹や友達と比較せず、その子のがんばりを認め、励ましの言葉かけをしてあげてください。

高学年 POINT

発達の個人差が大きくなり、自分を客観的に見たり、友達と比べたりするようになります。また、考える力も成長し、ときには大人への反抗もみられますが、自分が大切にされているかなど、大人からの評価も気にする頃です。